

県立串本古座高等学校 学校運営協議会

令和3年度 第2回【12月3日（金）】

出席者 委員6名、傍聴人0人

報告

- ①来年度の取り組みと県教委作成の「県立高等学校の再編整備の基本的な考え方」について
- ②くろしお塾の状況について
- ③学校訪問に見る全国募集の予想、高校と地域の連携状況について
- ④地域協議会活動方針（案）について

報告した主な内容

報告

- ① 来年度の取り組みと県教委作成の「県立高等学校の再編整備の基本的な考え方」について校長から説明。
 - 来年度は生徒を増やす目玉として、クラブ活動で「Eスポーツ」と、野球部活動を前面に出して取り組んでいく。
 - 県立学校の再編整備については、串本古座高等学校は分校、分校舎という話もあったが、地域特性を踏まえ存続充実を目指すになっている。
- ② 上半期のくろしお塾の状況について、地域協議会から説明。
 - 9月末までの利用者数は延べ3,531人になっている。年間10,000人を超えると予想される。
- ③ 学校訪問に見る全国募集の予想、高校と地域の連携状況について地域協議会から説明。
 - 県内外からの学校訪問問合せ者は、昨年は9人であったのに対し、今年は18人となっている。特徴として、関東からの訪問者が多くなっている。
 - 今年は、地域からの24人が授業の講師をしてくれた他、6事業所がインターンシップの受け入れをしてくれた。
- ④ 来年度の地域協議会活動（案）を地域協議会から説明。
 - 地域協議会活動は、くろしお塾が中心となっておりその他の活動は昨年と変わらない。

委員から以下の意見が出た。

- ・県立学校再編整備は10年先までのあり方となっている。10年後を見据えて何ができるのか長期計画を立てる必要がある。
- ・ロケット関連企業との地域連携をアピールすることができないか。